

甲子園懸け佳境へ

きょうから準々決勝

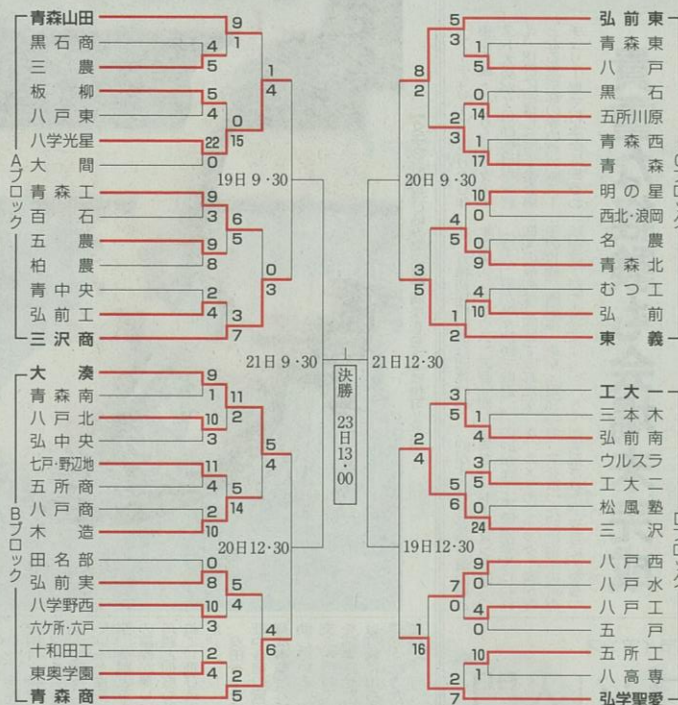


第10回 全国高校野球選手権 青森大会

第10回全国高校野球選手権青森大会は、いよいよ本塁打戦に突入する。今月16日に開幕した球児の戦いは、16日までに3回戦が終了し、49チームが姿を消した。残る8校は、弘前、青森、三沢、弘前、三沢、弘前、三沢の3校が準々決勝に進む。このうち、弘前、三沢、弘前、三沢の4校は、21日に準々決勝を戦う。弘前、三沢、弘前、三沢の4校は、21日に準々決勝を戦う。弘前、三沢、弘前、三沢の4校は、21日に準々決勝を戦う。

青森大会3回戦終了時点までの勝ち上がりと今後の日程

(参加校=57チーム 太字はシード)



※「西北・浪岡」は浪岡、金木、鯉ヶ沢、木造深浦の連合チーム



試合速報
きょうの試合
▽準々決勝
▽弘前はかき
八学光星(9・20)
三沢(12・30)
弘前(12・30)

チーム	試合数	打数	安打	打率	長打	得点	四死球	盗塁	失策	失点	
八学光星	3	77	34	.441	8	11	41	39	26	7	3
三沢商	2	66	15	.227	0	1	3	10	9	9	3

光星 VS 三沢商 自慢の長打力抜群 投手陣の出来が鍵

投手陣も駒が豊富で厚が厚く、春の県王者青森山田を3回戦で撃破して勢いに乗る。三沢商は、2回戦の弘前工戦、3回戦の青森工戦とも、ここ一番で得点を挙げる勝負強さが光った。主戦川村哲也や、3回戦完封の豊川洗多ら投手陣の出来が鍵を握りそうだ。

八学光星・武岡龍世主将「強豪・青森山田を破った勢いで挑む。ここから本場の勝負。もう一度引き締め直し、チーム一丸となって頂点を狙う」

三沢商・豊川洗多主将「相手は強豪だが、同じ高校生。これまでと同じように、全員一丸で一つのプレーを大事に、丁寧にアウトを取る」

きょうの見過ごころ